



第68号 2018年町田

俊風会 NEWS

衆議院議員
伊藤しゅんすけ
Shunsuke Ito

発行元:伊藤俊輔連合後援会
地元事務所〒194-0021
町田市中町 2-6-11 サワダビル3F
TEL 042-723-0117 FAX 042-729-7935
国会事務所〒100-8982
千代田区永田町 2-1-2 衆議院第 2-1122
TEL 03-3508-7150 FAX 03-3508-3640

沖縄県知事選「新しい基地はいらない」の声

沖縄県民は4年前と同じ辺野古移設に明確に反対している玉城デニー氏を選びました。「沖縄に新たな基地はこれ以上作らせない」という意思表示だと思います。私も玉城デニー氏の応援で沖縄に入って参りましたが「沖縄の基地問題」を沖縄だけの問題ではなく日本全体の問題として受け止めなければならぬことを改めて肌で感じました。これまで「沖縄に寄り添う」と言いながら翁長氏の面会もせずに振興予算を減らし米軍のトラブルが続いても強い交渉が出来ずにいます。辺野古移設に舵を切り、海の埋め立ては刻々と近づいています。私も沖縄県民の想いを受け止めて今後の国会活動で取り組ませて頂きます。



NHK から取材

まもなく臨時国会—1日も早い開会で追及を—

いま財務省も厚生省も文科省も国交省も外務省も主要省庁が問題を抱え、日本の官僚組織が信頼を失っております。森友や加計問題では、財務省や国交省も公文書改ざんや虚偽答弁を繰り返し、幹部の指示に抵抗して自らの命を絶たれた財務省職員もおりました。外務省はイラク日報問題であるはずの日報を隠ぺいし、厚生省は障がいの方々の雇用を水増していたことが発覚しました。文科省は汚職が発覚し局長級の官僚が相次いで逮捕されました。問題の根幹は政府の都合が悪いことには「記憶も記録」も無くす余りにも無責任な体質であり、政治家は誰一人責任をとらないまま逃げきろうとしています。私は引き続き「駄目なことには駄目」としつかり声をあげて参ります。



委員会で質疑



議員歳費3割分を削減し被災地に寄付を継続しています
(陸前高田市の戸羽市長と)

世界は脱炭素化(CO2ゼロ)時代へ。

いま野党合同で原発ゼロ法案提出など進む中で、政府は、原発事故を起こした今も、教訓を活かさずに、原発をベースロード電源とし、無責任にも再稼働を続けています。一方、世界の電力市場は主役交代がおき、急速に再生可能エネルギー市場を軸に脱炭素化(CO2ゼロ)社会に向かっています。アップルやグーグル、ナイキ、BMW、ゴールドマンサックス、スターバックス、H&M、GMなど世界を代表する企業140社が続々と自社の使用電力を100%再エネ化することを目指す「RE100」という国際NGO団体に加盟し、日本企業ではイオンや積水ハウス、リコー、アスクル、大和ハウス、ワタミ、城南信用金庫に加え、新たにソニー、丸井、富士通、エンビプロホールディングスが加わった僅かに11社となっています。アップルはすでに自社の使用電力を再エネ100%達成し、サプライヤー25社も同様の取り組みを実施しています。日本企業もすでに対応を迫られています。

いま中国は1年間で太陽光54GW増、かたや日本は7GW増、風力では中国は1年で23GW増、かたや日本はこれから15年間で7GW増の計画。日本の15年間分の3倍を中国は1年で増やしています。世界は再エネに金融や投資が集まり、再エネの発電コストが安くなっていて、日本は大きな遅れをとっています。私は次の世代のためにも、太陽光、風力、水力、地熱、バイ

オマス、木材チップ、水素など「原発に依存しない日本」再エネなど新しい産業で新たな文明への挑戦をします。

—中国李克強総理らと会談—

李克強総理や栗戰書全人代常務委員会委員長などと会談し、日中関係が改善に近づいていることを実感しました。かつて中国北京大学留学や会社経営を通じ、海外経験が活かすことができ、更に役割を果たして行きたいと思います。

中国はいま、小売店ですら現金(紙幣)を嫌がるほど、電子決済が急速に進み、またネットで何でも買えるEC市場(電子商取引)なども急速の発展。現地では日本をKMK(来て見て帰る)と揶揄されるほど、日本の基礎研究のレベルは高いが商品化やビジネスモデルにするのは極めて遅いなどの意見もあり、日本も2020年オリパラに向けて、世界のスピード感に対応し、電子決済などをはじめ多くの課題に向き合わなければなりません。



・43万人の健康と命を守る、町田市に3次救急や大学病院並みの医療体制充実を。

- 俊輔の地元政策
- 町田市には救命救急(大学)病院が1つもありません。脳や心臓など搬送される初動3、40分が命取りです。
 - ・首都圏一の魅力ある「農と緑と住」の北部丘陵構想
 - ・小田急線延伸で忠生地区に初めての小山田駅の早期実現
 - ・多摩都市モノレール延伸と小田急多摩線の延伸の早期実現
(多摩センター駅—野津田競技場—鶴川駅—TBS—こどもの国の南北を結ぶモノレール新構想の提案)
 - ・鶴川駅南口ターミナル実現で駅前渋滞解消と橋上駅で急行停車駅に(三輪緑山のアクセス環境向上)
 - ・相原駅前横浜線アンダーパス着手、八王子医療センターへの直通バスの実現
 - ・団地問題(家賃、バリアフリー(EV)、空室、建替、商店街活性化)
 - ・オリパラ町田市も自転車ロードレースの会場に
 - ・再生可能エネルギー支援、脱炭素化(CO2削減)支援
 - ・町田市を(自主財源で運営できるように)不交付団体へ、待機児童ゼロ、障がい者福祉支援

☆国会見学をしたい方はご連絡を☆

伊藤しゅんすけ事務所では、いつでも国会見学を受付しています。個人でも知人友人と、また自治会や町内会、老人会など団体でも様々なプランのご相談できます。国会見学に加えて皇居や迎賓館、また浅草など観光を組み合わせることも可能です。

(例:40人前後の団体であればバスを貸し切り お昼込で5000円前後)

伊藤俊輔プロフィール

- ・1979年8月5日 町田市まれ 町田市在住
 - ・富士幼稚園卒
 - ・桐蔭学園小・中・高・大卒
 - ・中央大学経済学部卒
 - ・中国北京大学留学
 - ・会社経営元役員
 - ・維新政治塾1期生
 - ・第46回47回衆議院議員選挙次点
 - ・第48回衆議院議員選挙76450票初当選
- 主な役職/国土交通委員会/原子力特別委/議院運営委員会/党国対役員/党政務調査会副会長/党財金・総務副部会長/党拉致問題対策本部/原発ゼロの会/日中友好議連/日本パパアニューギニア議連/障がい・難病政策推進議連/旧公団居住安定化推進議連

早朝の駅頭は、私の原点です



皆様のお声を是非お聞かせください。

返信 FAX は 042-729-7935 までお願い致します。

ご氏名:

TEL:

FAX:

ご住所:

MAIL:



HP <http://www.i-shunsuke.com>
Twitter <http://twitter.com/shun76450>

Mail officeshunsuke2012@gmail.com
FB <http://www.facebook.com/shun76450>

Instagram
<http://www.instagram.com/shun76450>